

とぼたの風

第76号

2020年12月発行

発行責任者
配川 寿好

北九州市戸畑区
天籟寺1丁目1番15号

Tel.873-3735
(部内資料)

6人の任命拒否の理由 なぜ説明しないのか



質問する田村智子議員＝25日、参院
予算委（新聞赤旗 11月26日より）

そもそも日本学術会議とは？

行政や産業、国民生活に生かすために科学を発展させることを目的に、1949年に創設され、210人の会員で構成されています。

会員の任期は6年で、3年ごとに半数が任命されます。ところが今年任命の105人のうち6人が、理由も明らかにされずに菅総理により任命を拒否されたのです。70年に及ぶ学術会議の歴史の中でも前代未聞のできごとです。

独裁政治につながる任命拒否

学術会議は、日本学術会議法

という法律にもとづいて運営されています。法律上、任命権は学術会議に与えられており、総理は追認するだけなのです。それを理由も示さず任命を拒否したのですから、法律を無視しただけでなく、総理個人の力が国の法律を上回るといって、民主主義に逆行する異常な事態です。これを許していいのでしょうか。

民主主義への危機感で抗議の声、急速に拡大

この問題は、学術会議だけでなく、国民全体の問題であり、国の政治すべてに通じています。時の権力者の専制を許せば、どれほどの悲劇が起こるか、私たちは75年前の戦争体験を忘れて

総選挙、北九州市議選

勝利・躍進へ全力

コロナ禍のなか、政府の無為無策ぶりはあまりにもひどいものです。必死に頑張っている国民に、この危機の打開に責任を持つとうとしていないとはとても思えない菅総理が、国民に「自助」を説いていることに強い憤りを覚えます。

コロナで政治の歪みが噴出

コロナで、国民のいのちやくらしより、大企業や超富裕層の「もうけ」を優先させてきたこれまでの自民・公明の政治の歪みが噴出しています。

政治の大本を 変えるために

この危機を脱し、希望ある社会に踏み出すために、政治を大本から変えて、国民のためにこそお金を使う政治に転換させましょう。



北九州市議会議員
荒川 徹



前衆議院議員
まじま 省三

来年1月31日投票の北九州市議選が目前に迫り、早期の衆議院解散・総選挙が予想されています。歪んだ政治をただすため、連携してたたかう国会議員団、市会議員団を大きくしてください。みなさんのご支援を心よりお願いいたします。

す。民主主義国家であり続けるために、真相を明らかにさせるとともに、任命拒否の撤回を求めていきたいと思います。

ヨトサ!

日本学術会議の
新会員6名の任命
拒否問題で、野党
の追及に対する菅
首相の答弁は「見
ていない」「総合
的、俯瞰的に判断」
など、はぐらかし

に終始し、どうしても拒否の理由を言わない▼国民は「政府に都合の悪いことがあるのだから」と思わざるを得ない。理由がわからないと学者はほとんど自主規制のハードルを上げていき、メディアもこれに追従して行くかも知れない。それこそ政権の狙いではないかと思う▼首相の裁量で「桜を見る会」の招待者が決まっていたように、首相のえり好みで種々の任命ができるなら、学術会議だけでなく日本社会全体の問題になるだろう▼これまでに900もの学会・団体が抗議声明を出している。日本の学会はしっかり健全である。さらに国際的にも学会やメディアで批判が出ていることにも力をもらおう▼政府とは本来「反対する人の意見」や「耳の痛い発言」にこそ耳を傾けることで、より良い法律や施策ができていくのではないかと。言いたいことが言えない、言わせない、苦言が人事に影響するようでは国が率先してわが身のことだけを考える国民を作っているようなものだ▼安倍政権以来、忖度ばかりが広がっておかしなことが平気でまかり通る社会になってしまった。次の総選挙ではどうしても政権交代を実現させなくては。



コロナ対策中心に市長に申し入れ



北九州市議会議員
荒川 徹

11月9日、北橋市長に直接、コロナ対策など500項目を超える市民の声を届けました。

原点は「住民の苦難軽減」

切実な市民要望実現に向けた市長への直接要求と、市議会での論戦で若戸大橋の無料化など、多くの成果をあげてきました。

実際には、日本共産党の提案とい



日本共産党議員8人全員で北橋市長(左端)に提案書を手渡し、懇談(11月9日)

うだけで受け入れられないという議会内の奇妙なこだわりが壁となり、市民の願いが届かないこともしばしばで

す。粘り強く、他会派を説得し、壁を乗り越えてこれまで非核平和都市宣言や住宅リフォーム助成制度などを実現してきました。また、従来型の議員の海外視察の廃止もわが党の提案からでした。

「数は力」、議席増を

みなさんに支えられ、これまでがんばってこることができたことに、心より感謝しています。

しかし、みなさんの声に応えるためには、いまの議席数では少なすぎます。1月の市議選で、さらに大きな力を与えてください。戸畑区で9期目に挑戦する私をはじめ、何としても10議席へ、みなさんのご支援をお願いします。

戦後75年、被爆者が長年待ち望んだ核兵器禁止条約が来年発効します。

2017年にノーベル平和賞を受賞したICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)の努力がやっと実を結ぶのです。毒ガス兵器、対人地雷、クラスター爆弾などは既に国際法で禁止されているのに、最も危険な核兵器は今まで国際的には違法ではありませんでした。

何故?核保有国は抑止力という都合の良い名目で核兵器を所有し続けており、そして「核の傘」の国もその恩恵に預かる為に「違法」であっては困るからです。アメリカの傘の下にいる日本は唯一の被爆国でありながらこの条約に批准していません。

被爆者にとっては屈辱の限りです。しかし平和を望む声は力となり、遂にこの条約が発効します。被爆者の高齢化が進む中、私達は後の世界が平和であり続ける為、日本もこの条約に批准する様に働きかけなくてはなりません。山口 昌紀

核兵器禁止条約が発効する

—戸畑区の被爆者より—



来年1月22日に、核兵器禁止条約が50カ国批准という発効条件を満たして、いよいよ発効する。

被爆者は人類の歴史で初めて原爆を体験し、こんな非人道的な核兵器は二度と人間の上に使われてはならないと、被爆の実相を語り全世界に核兵器廃絶を訴えてきた。核兵器禁止条約は核兵器の使用だけでなく、開発、保有、更に威嚇さえも違法として禁止するもので、人類史上画期的な成果だ。

この成果をふまえ核兵器保有国に核軍縮を確実に進めることを求め、保有国や核の傘の下にある国に対しても批准と会議参加を求めることが重要だ。当面の私たちのたたかいは、日本政府にそれを求めることだ。違法化は主権者の自覚と行動を求める。

飛幡 節夫

随筆

ソフトバンクホークスの軌跡

竹内 七奈 (天籟寺在住)



ソフトバンクホークスが三年ぶりにパ・リーグ優勝を果たした。今年にはコロナ禍で三ヶ月も開幕が遅れ、無観客の中で始まったが、ホークスはスタートダッシュに乗れず低迷していた。七月にようやく観客が入り始めると、それに伴いホークスの調子もどんどん上がり始め、気付けばすっかり首位を

占め、グラウンドで全員が輪になって万歳三唱した。無論これもコロナ対策だったが、歓喜は十分伝わってきた。

ホークスは一九三八年に南海軍として誕生し、一九四七年に名称を南海ホークスとした。

しかし一九七〇年代後半から成績は落ち、一九八九年から本拠地にファンが怒り、球場に発煙筒やゴミが投げ込まれ、選手達が乗ったバスに卵が投げつけられたりして大騒ぎになった。今のホークスファンからは想像もつかない事態だろう。

二〇〇五年、ソフトバンクになって以降もホークスは常勝しているが、それは悔しさをバネに、選手達や関係者の努力が着々と実を結んでいった末の栄光であること忘れてはなるまい。



キープしていた、選手の立場からすると、球場のビジョンに映る動画やメッセージよりも、熱心なファンが直接見えた方がより熱気を感ぜられて力が湧くのだろう。その後はロッテにゲーム差ゼロにまで追い詰められたりもしたが、終盤は怒涛の十二連勝で引き離し、ホームのペイペイドームで優勝を決めた。監督や選手の胸上

くすりのことなら

ふれあい薬局
戸畑店

戸畑区新池1丁目5-30
093-881-2332